

越谷市保健衛生審議会 令和5年度第4回会議

次 第

日 時 令和6年(2024年)2月19日(月)午後7時30分～

会 場 越谷市保健センター 2階 多目的会議室

1 開会

2 会長挨拶

3 議事

(1) 計画案に対するパブリックコメント意見と市の考え方について

①第3次越谷市健康づくり行動計画・食育推進計画「いきいき越谷21」(案)について

②越谷市感染症予防計画(案)について

(2) 第3次越谷市健康づくり行動計画・食育推進計画「いきいき越谷21」(案)に係る越谷市長への答申(案)について

(3) その他

4 閉会

第3次越谷市健康づくり行動計画・食育推進計画「いきいき越谷21」(案)
への意見一覧

(募集期間：令和6年1月6日(土)から令和6年2月4日(日))

番号	原文
1	<p>意見のある項目:P76 健診の受診状況</p> <p>意見の内容: 病院・医院で健診を受けるが、医師から具体的な改善策の提案がないため獨協受診をすすめられた。←混んでいて手軽でない。 結果・改善の場があるといいと思った。</p>

第3次越谷市健康づくり行動計画・食育推進計画「いきいき越谷21」(案)
への意見一覧

(募集期間：令和6年1月6日(土)から令和6年2月4日(日))

番号	原文
2	<p>案件名：第3次越谷市健康づくり行動計画・食育推進計画「いきいき越谷21」(案)</p> <p>意見のある項目：84ページ 第2章 越谷市の現状と課題</p> <p>行動目標：(4)食の安全性を求めよう</p> <p>意見の内容：</p> <p>現在、農薬・化学調味料・安全が保障されていないゲノム編集食材・海外では禁止の添加物など食の安全性が社会的に問われています。</p> <p>上記のものを食べ続け、不妊や病気になる可能性もあり海外では論文もあります。</p> <p>都内では中野区をはじめ、武蔵野市でオーガニック給食になり、都内の他の区(港区・北区・その他)でもオーガニック給食を推進しています。埼玉県内では所沢市(市内全域)と草加市(一部)の小学校では有機野菜を取り入れ、産地を明記し、化学調味料無添加を実現しています。</p> <p>子供たちの安全を守るためにも越谷で取り組んでいるオーガニック給食「越谷子ども食を考える会」の活動を支持します。</p> <p>海外と日本の添加物の違い https://mamanohitorigoto.com/syokuhintenkabutsu.html#google_vignette</p> <p>海外の除草剤・農薬 訴訟 https://www.nikkei.com/article/DGXMZO60761910V20C20A6000000/</p>

第3次越谷市健康づくり行動計画・食育推進計画「いきいき越谷21」(案)
への意見一覧

(募集期間：令和6年1月6日(土)から令和6年2月4日(日))

番号	原文
3	<p data-bbox="363 320 911 353">本件に携わる皆様のご尽力に感謝いたします。</p> <p data-bbox="336 416 887 450">第5章 越谷市の食育(越谷市食育推進計画)</p> <p data-bbox="336 465 523 499">食をめぐる問題</p> <p data-bbox="336 515 667 548">(2) 子どもへの食育の推進</p> <p data-bbox="363 611 783 645">上記案についての意見を述べます。</p> <p data-bbox="336 707 528 741">【意見文の整理】</p> <p data-bbox="336 757 1353 931">まず、計画案の一部抜粋において、子どもへの食育の推進においては「行政」の介入が不足していると感じます。保護者や教育、保育に携わる関係者だけでなく、越谷市としても地域の発展や食育の推進に枠組みを作るという意味で、積極的に関わるべきと感じています。そのため、計画案(2)に「行政」の言葉を明記することが望まれます。</p> <p data-bbox="336 994 416 1028">【要望】</p> <p data-bbox="363 1043 783 1077">計画案(2) 子どもへの食育の推進</p> <p data-bbox="336 1093 1353 1312">「子どもへの食育の推進は、健全な心身と豊かな人間性を育んでいく基礎をなすものであり、子どもの成長、発達に合わせた切れ目のない推進が重要です。保護者や教育、保育に携わる関係者等の意識の向上を図るとともに、相互の密接な連携の下、家庭、学校、保育所、地域社会等の場で子どもが楽しく食について学ぶことができるよう、積極的な取組が必要だとされています。」</p> <p data-bbox="336 1328 1353 1458">→「子どもへの食育の推進は、健全な心身と豊かな人間性を育む基礎であり、行政、保護者、教育関係者、保育関係者が連携し、家庭、学校、保育所、地域社会で子どもが楽しく食について学ぶ環境を整備するため、積極的な取組が必要です。」</p> <p data-bbox="336 1520 416 1554">【背景】</p> <p data-bbox="336 1570 1353 1648">越谷市では昨年度、2つの団体が「学校給食」に関わる署名活動を行っており、多くの市民が活動に賛同している事実があります。</p> <p data-bbox="336 1664 1353 1742">趣旨は異なるものの、これら署名活動では、食育の推進をするため、子どもの未来の食を守るために「地産地消」について明言されています。</p> <p data-bbox="336 1758 1353 1933">現在越谷市の学校給食における地産地消率は低い状況にありますが、地元で生産された食材を使用した食育は、子どもたちが地元への食文化や生産者への理解を深める一助となり、生産者と直接ふれあう機会または、生産者の顔が分かる関係が、食材に対する興味や感謝の気持ちを生み、郷土愛を育みます。</p> <p data-bbox="363 1948 1353 1982">本当の意味で食育を推進するためには、現場だけでなく、行政の介入が必要と考え</p>

ます。

【地産地消が食育に与える影響の例】

1. ****食の安全性の向上:****

地元で生産された食材は、生産者との距離が縮まり、生産過程や品質管理が透明に。これにより、食の安全性が向上します。また生産者がより責任を持って生産に携わる傾向があります。

2. ****地域経済への貢献:****

地元での生産・消費は、地域経済の活性化に寄与。地元産業への支援が雇用を増やし、地域社会の発展に繋がります。

3. ****地元の特産品の価値向上:****

地元で生産された食材が支持されることで、その価値が向上。伝統的な食文化や農産物を守り、次世代に引き継がれます。

4. ****環境への配慮:****

地元での生産・消費は、物流のコストと環境負荷を減少。地元での購入が二酸化炭素排出を削減し、環境に優しいです。

5. ****持続可能な農業の促進:****

地産地消は、地元の農業を支え、持続可能な農業への動機付け。地元での需要が長期的な視点での農業発展に貢献します。

第3次越谷市健康づくり行動計画・食育推進計画「いきいき越谷21」(案)
への意見一覧

(募集期間：令和6年1月6日(土)から令和6年2月4日(日))

番号	原文
4	<p>5.食育を推進する宣言の中に、</p> <p>食と農を大事に、や食の安全を守る宣言とありますが、はっきりとした具体策がない気がします。</p> <p>何となく食の安全を考える人は沢山いても、具体的に何を知ってるかと言うと分からない人の方が多いのではないのでしょうか？</p> <p>それには先ず、学校で教育の一つに取り入れる(例えば、道徳の授業や別枠の時間を作り農家の人を呼んで話しを聞く等でもいい)</p> <p>子供の頃から、身体にとって何が危険な食なのか？本当に身体に良い食とは何かを教えていくという事がとても大事だと思ってます。</p> <p>そして子育て世代の家族(特に興味のない人向け)に広げる機会を作る。</p> <p>そして根本は、越谷にオーガニック農家さんを増やしていくこと。</p> <p>それには農家さんへの補助も必要となってくるとも思います。</p> <p>ここに掲げてある内容全てに関わっている事が、安全な食を摂取することではないかと考えます。</p> <p>若い人が越谷に住み続けたいと思う理由には、やはり越谷市がオーガニックな食が揃っている土地を目指し楽しく安全に暮らせる事が、心や身体の健康に繋がっているのではないかと思います。そして、高齢者が生き生きと暮らすためには、若者達が居続けてくれなければ無理な話しです。越谷の学校にオーガニックな給食を出していくという未来も描いて行って頂きたい。健康な身体を作るには健康な食を摂取するという当たり前の教育と、オーガニック農家さんが越谷でやっていきたいという土壌を作る事が先決なのでは？と思っています。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1.食育の過程を学校に取り入れる 2.食の安全を地域でも広めていく 3.越谷の農家(出来ればオーガニック)さんを優先的に応援していく 4.越谷市長が率先して勧めていく！ <p>越谷市なら出来る！と思ってます</p>

第3次越谷市健康づくり行動計画・食育推進計画「いきいき越谷21」(案)
への意見一覧

(募集期間：令和6年1月6日(土)から令和6年2月4日(日))

番号	原文
5	<p>意見の内容：</p> <p>健康づくり(50代～80代のシニアの健康づくり)</p> <p>千間台西の噴水公園にて、ラジオ体操に通い始めたのですが、早朝6:15～ ストレッチ、ラジオ体操第1、第2、ハッポちゃん体操、越谷の歌とたくさんの体操をボランティアの方々が指導して下さいます。50名～100名の近くの方々が、いきいきと通って交流されていて、参加させていただいてありがたいです。</p> <p>ぜひ越谷市の職員の方にも、見ていただいて、何らかのはげましのお言葉が欲しいと思います(1年中 正月3ヶ日以外、毎朝)</p>

第3次越谷市健康づくり行動計画・食育推進計画「いきいき越谷21」(案)
への意見一覧

(募集期間：令和6年1月6日(土)から令和6年2月4日(日))

番号	原文
6	<p>子ども達に持続可能な安全で美味しい給食を提供して欲しいと強く思います。 子ども達は日本の未来です。 学校給食を通して食の流通を学び、味覚を育て、社会へ貢献する明るい未来を描いて欲しいです。 その為にも、取り入れる食材に地場野菜を増やし有機栽培も取り入れて欲しいです。 化学調味料は使わず出汁からとり、冷凍食品ではなく手作りを。 これは昔は当たり前に出ていました。大人の努力と工夫次第で実現可能ですよね。 恥ずかしく無い、大人の背中を見せませんか？ 一般市民として心より強く願います。 よろしくお願い致します。</p>

第3次越谷市健康づくり行動計画・食育推進計画「いきいき越谷21」(案)
への意見一覧

(募集期間：令和6年1月6日(土)から令和6年2月4日(日))

番号	原文
7	<p>子ども達の学校給食を、安全安心で野菜本来の美味しさがあるオーガニックな給食にして欲しいです。</p> <p>オーガニックや無農薬無科学肥料の自然農が、越谷に拡がり、子供たちの健康も守られて、子供達も一緒に作っていければ、食育にもつながり、給食でご飯を食べているだけだったのが、お米ができるまでの背景を知ることができるのも、大きな学びになると思います。</p> <p>韓国では、国をあげてオーガニック給食にしています。日本では、農業自給率も低く、オーガニックや農業や化学肥料に頼らない自然農となると更に少なく、学校給食を賄うだけの生産量も無く、現状が難しい状況だと思います。しかし、今、農業をはじめ一次産業へのサポートをする事で、自給率も底上げし、尚且つ、学校給食という必ず需要がある(必ず買い取る)仕組みを利用する事で、農家さんのやる気も違ってくると思いましたが、聞いた話では、学校給食には、いろいろな基準があり、手間暇かける労力の割に、お金にならないということもあり懸念され、学校給食の食材を作る農家さんが減っており、給食での地産地消率も減っているらしい話を聞きました。</p> <p>気候変動、温暖化で、農家さんの苦労は計り知れないので、行政のサポートで、農家さんがやりやすいように、また、地球に負荷のかからない持続可能な農業にしていけることが、健康な循環になるのかなと思います。</p> <p>全国の水田の2%を有機にすれば、全国で100%の有機米給食が可能だという、みどりの食料システム戦略での指標もあるので、越谷でもお米からかえていくのは、どうでしょうか。</p> <p>自然農やオーガニック農業に切り替えるためのサポートも行政にお願いしたいです。自然農の野菜の栄養価、ミネラルの摂取が高まることで、食べた人にも良いし、もちろん作っている農家さんも、農業や除草剤での健康被害だったり、土地自体の健康度にも差があり、収穫量にも良いと思います。</p> <p>まずは子供から、オーガニック給食を通じて健康になり、それを支える農家さんが増えることで、越谷の土地全体も健康になり、健康な人が増えることで、医療費や薬の使用量も減り、抗生物質による耐性菌なども抑えていけるのではと思います。家畜への抗生物質なども気がかりですが、家畜のエサになっている遺伝子組換えも、心配です。</p> <p>トマトや魚へのゲノム編集の開発者は、人口増加への対策としてや、健康の要素としてリコピンを増やしていると思いますが、それを食べ続けても安全かというのには疑問</p>

があり、消費者が選べるようにして欲しいと思います。

最後にオーガニック給食と言っても、現状、直ぐには難しいお思います。例えば調味料から、塩 1 つでも、自然塩に切り替えてみる、醤油や味噌も、昔ながらの製造のものにし、保存料や着色料などの添加物が無くて安全だと思えます。

第3次越谷市健康づくり行動計画・食育推進計画「いきいき越谷21」(案)へのパブリックコメント意見と市の考え方(案)

資料2

(募集期間：令和6年1月6日(土)から令和6年2月4日(日))

【区分】①意見を反映する ②意見の反映はしない(考えを説明、今後の参考とする) ③その他

番号	意見項目	意見	市の考え方(案)	区分
1	76ページ 第2章 越谷市の 現状と課題 2(9)ウ 健診の 受診状況	意見のある項目:76ページ 健診の受診状況 意見の内容: 病院・医院で健診を受けるが、医師から具体的な改善策の提案がな いため獨協受診をすすめられた。←混んでいて手軽でない。 結果・改善の場があるといいと思った。	本市の施策として、「特定保健指導」や「特定健診結果説明会・ 生活習慣病(NCDs)予防セミナー」など、各種健診等を受けた 方を対象とした講座や、「糖尿病予防講座」「市民健康教室」など、 疾病予防を図る教室等を開催しています。(計画案第4章「7 が ん対策とライフコースアプローチを踏まえた健康づくり」の14 6ページから147ページをご参照ください)。 いただいたご意見を踏まえ、引き続き施策の周知、実施をしてま いります。	②

第3次越谷市健康づくり行動計画・食育推進計画「いきいき越谷21」(案)へのパブリックコメント意見と市の考え方(案)

(募集期間:令和6年1月6日(土)から令和6年2月4日(日))

【区分】①意見を反映する ②意見の反映はしない(考えを説明、今後の参考とする) ③その他

番号	意見項目	意見	市の考え方(案)	区分
2	84ページ 第2章 越谷市の 現状と課題 3(1)行動目標④ 食の安全性を求め よう	意見のある項目:84ページ 第2章 越谷市の現状と課題 行動目標:④ 食の安全性を求めよう 意見の内容: 現在、農薬・化学調味料・安全が保障されていないゲノム編集食材・海外では禁止の添加物など食の安全性が社会的に問われています。 上記のものを食べ続け、不妊や病気になる可能性もあり海外では論文もあります。 都内では中野区をはじめ、武蔵野市でオーガニック給食になり、都内の他の区(港区・北区・その他)でもオーガニック給食を推進しています。埼玉県内では所沢市(市内全域)と草加市(一部)の小学校では有機野菜を取り入れ、産地を明記し、化学調味料無添加を実現しています。 子供たちの安全を守るためにも越谷で取り組んでいるオーガニック給食「越谷子どもの食を考える会」の活動を支持します。 海外と日本の添加物の違い https://mamanohitorigoto.com/syokuhintenkabutsu.html#google_vignette 海外の除草剤・農薬 訴訟 https://www.nikkei.com/article/DGXMZO60761910V20C20A6000000/	本市の学校給食では、越谷市独自の細かい物資規格を作成し、入念な検討を重ねたうえで、使用する物資の選定を行っています。食材の選定においては国産食材を中心に使用し、化学調味料や食品添加物が使用されていない食品や遺伝子組み換えでない食品など、安全な食材の使用に努めております。 食の安全に関しては、本計画案の85ページに記載のとおり、令和4年度に実施した「第3次越谷市健康づくり行動計画・食育推進計画策定に係るアンケート調査」においても、「食品の品質表示に関心を持つ人の割合」が第2次計画策定当初から改善がみられませんでした。 この状況を踏まえ、同118ページの第4章「1 栄養・食生活(越谷市食育推進計画)」の行動目標「④ 食の安全性を求めよう」に記載した施策を実施するとともに、関係課所との連携を図り、食の安全に関する取組を進めてまいります。 いただいたご意見は、教育委員会給食課、農業振興課に情報共有いたします。	②

第3次越谷市健康づくり行動計画・食育推進計画「いきいき越谷21」(案)へのパブリックコメント意見と市の考え方(案)

(募集期間：令和6年1月6日(土)から令和6年2月4日(日))

【区分】①意見を反映する ②意見の反映はしない(考えを説明、今後の参考とする) ③その他

番号	意見項目	意見	市の考え方(案)	区分
3	151ページ 第5章 越谷市の食育(越谷市食育推進計画) 3 食をめぐる問題 (2)子どもへの食育の推進	意見の内容： 本件に携わる皆様のご尽力に感謝いたします。 第5章 越谷市の食育(越谷市食育推進計画) 食をめぐる問題 (2)子どもへの食育の推進 上記案についての意見を述べます。 【意見文の整理】 まず、計画案の一部抜粋において、子どもへの食育の推進においては「行政」の介入が不足していると感じます。保護者や教育、保育に携わる関係者だけでなく、越谷市としても地域の発展や食育の推進に枠組みを作るという意味で、積極的に関わるべきと感じています。そのため、計画案(2)に「行政」の言葉を明記することが望まれます。 【要望】 計画案(2) 子どもへの食育の推進 「子どもへの食育の推進は、健全な心身と豊かな人間性を育んでいく基礎をなすものであり、子どもの成長、発達に合わせた切れ目のない推進が重要です。保護者や教育、保育に携わる関係者等の意識の向上を図るとともに、相互の密接な連携の下、家庭、学校、保育所、地域社会等の場で子どもが楽しく食について学ぶことができるよう、積極	ご意見の該当箇所は、国の第4次食育推進基本計画を要約した箇所となっており、本市の食育推進の方針につきましては、計画案153ページの第5章「5 食育を推進する宣言」に記載しています。 子どもが食育を楽しく学ぶため、市民、関係団体、行政が連携して取り組む各種施策については、同113ページからの第4章「1 栄養・食生活(越谷市食育推進計画)」に記載しています。これらの施策を通じて、行政の立場からも、子どもへの食育の推進に積極的に取り組んでまいります。 ご意見の主旨を踏まえ、今後の事務を進めるうえで参考とさせていただきます。	②

第3次越谷市健康づくり行動計画・食育推進計画「いきいき越谷21」(案)へのパブリックコメント意見と市の考え方(案)

(募集期間：令和6年1月6日(土)から令和6年2月4日(日))

【区分】①意見を反映する ②意見の反映はしない(考えを説明、今後の参考とする) ③その他

	<p>的な取組が必要だとされています。」</p> <p>→「子どもへの食育の推進は、健全な心身と豊かな人間性を育む基礎であり、行政、保護者、教育関係者、保育関係者が連携し、家庭、学校、保育所、地域社会で子どもが楽しく食について学ぶ環境を整備するため、積極的な取組が必要です。」</p> <p>【背景】</p> <p>越谷市では昨年度、2つの団体が「学校給食」に関わる署名活動を行っており、多くの市民が活動に賛同している事実があります。</p> <p>趣旨は異なるものの、これら署名活動では、食育の推進をするため、子どもの未来の食を守るために「地産地消」について明言されています。</p> <p>現在越谷市の学校給食における地産地消率は低い状況にありますが、地元で生産された食材を使用した食育は、子どもたちが地元への食文化や生産者への理解を深める一助となり、生産者と直接ふれあう機会または、生産者の顔が分かる関係が、食材に対する興味や感謝の気持ちを生み、郷土愛を育みます。</p> <p>本当の意味で食育を推進するためには、現場だけでなく、行政の介入が必要と考えます。</p> <p>【地産地消が食育に与える影響の例】</p> <p>1. **食の安全性の向上:**</p> <p>地元で生産された食材は、生産者との距離が縮まり、生産過程や品質管理が透明に。これにより、食の安全性が向上します。また生産者により責任を持って生産に携わる傾向があります。</p>		
--	--	--	--

第3次越谷市健康づくり行動計画・食育推進計画「いきいき越谷21」(案)へのパブリックコメント意見と市の考え方(案)

(募集期間:令和6年1月6日(土)から令和6年2月4日(日))

【区分】①意見を反映する ②意見の反映はしない(考えを説明、今後の参考とする) ③その他

	<p>2. **地域経済への貢献:** 地元での生産・消費は、地域経済の活性化に寄与。地元産業への支援が雇用を増やし、地域社会の発展に繋がります。</p> <p>3. **地元の特産品の価値向上:** 地元で生産された食材が支持されることで、その価値が向上。伝統的な食文化や農産物を守り、次世代に引き継がれます。</p> <p>4. **環境への配慮:** 地元での生産・消費は、物流のコストと環境負荷を減少。地元での購入が二酸化炭素排出を削減し、環境に優しいです。</p> <p>5. **持続可能な農業の促進:** 地産地消は、地元の農業を支え、持続可能な農業への動機付け。地元での需要が長期的な視点での農業発展に貢献します。</p>	
--	---	--

第3次越谷市健康づくり行動計画・食育推進計画「いきいき越谷21」(案)へのパブリックコメント意見と市の考え方(案)

(募集期間：令和6年1月6日(土)から令和6年2月4日(日))

【区分】①意見を反映する ②意見の反映はしない(考えを説明、今後の参考とする) ③その他

番号	意見項目	意見	市の考え方(案)	区分
4	153ページ 第5章 越谷市の食育(越谷市食育推進計画) 5 食育を推進する宣言	意見の内容： 5.食育を推進する宣言の中に、食と農を大事に、や食の安全を守る宣言とありますが、はっきりとした具体策がない気がします。 何となく食の安全を考える人は沢山いても、具体的に何を知ってるかと言うと分からない人の方が多いのではないのでしょうか？ それにはまず、学校で教育の一つに取り入れる(例えば、道徳の授業や別枠の時間を作り農家の人を呼んで話しを聞く等でもいい) 子供の頃から、身体にとって何が危険な食なのか？本当に体に良い食とは何かを教えていくという事がとても大事だと思っています。 そして子育て世代の家族(特に興味のない人向け)に広げる機会を作る。 そして根本は、越谷にオーガニック農家さんを増やしていくこと。 それには農家さんへの補助も必要となってくると思います。 ここに掲げてある内容全てに関わっている事が、安全な食を摂取することではないかと考えます。 若い人が越谷に住み続けたいと思う理由には、やはり越谷市がオーガニックな食が揃っている土地を目指し楽しく安全に暮らせる事が、心や身体の健康に繋がっているのではないかと思います。そして、高齢者が生き生きと暮らすためには、若者達が居続けてくれなければ無理な話です。越谷の学校にオーガニックな給食を出していくという未来も描いていって頂きたい。健康な身体を作るには健康な食を摂取するという当たり前の教育と、オーガニック農家さんが越谷でやっていき	本市の学校給食では、オーガニック食材については、生産量が少なく、規格や価格が不安定なことから、安定的に仕入れられる食材として取り入れることは難しい状況です。 また、学校給食における地産地消の取組として、越谷産米は、ほぼ一年間を通して使用しており、令和4年度は、くわい、小松菜、ねぎなど7品目の地場農産物が使用されています。 学校での食育については、本計画案113ページからの第4章「1 栄養・食生活(越谷市食育推進計画)」に記載している各種施策を通じて取り組んでおります。 食の安全に関しては、本計画案の85ページに記載のとおり、令和4年度に実施した「第3次越谷市健康づくり行動計画・食育推進計画策定に係るアンケート調査」においても、「食品の品質表示に関心を持つ人の割合」が第2次計画策定当初から改善がみられませんでした。 この状況を踏まえ、同118ページの第4章「1 栄養・食生活(越谷市食育推進計画)」の行動目標「④ 食の安全性を求めよう」に記載した施策を実施するとともに、関係課所との連携を図り、食の安全に関する取組を進めてまいります。 いただいたご意見は、教育委員会給食課、教育委員会指導課、農業振興課に情報共有いたします。	②

第3次越谷市健康づくり行動計画・食育推進計画「いきいき越谷21」(案)へのパブリックコメント意見と市の考え方(案)

(募集期間:令和6年1月6日(土)から令和6年2月4日(日))

【区分】①意見を反映する ②意見の反映はしない(考えを説明、今後の参考とする) ③その他

	<p>いという土壌を作る事が先決なのでは?と思っています。</p> <ol style="list-style-type: none">1.食育の過程を学校に取り入れる2.食の安全を地域でも広めていく3.越谷の農家(出来ればオーガニック)さんを優先的に応援していく4.越谷市長が率先して勧めていく! <p>越谷市なら出来る!と思っています</p>		
--	--	--	--

第3次越谷市健康づくり行動計画・食育推進計画「いきいき越谷21」(案)へのパブリックコメント意見と市の考え方(案)

(募集期間：令和6年1月6日(土)から令和6年2月4日(日))

【区分】①意見を反映する ②意見の反映はしない(考えを説明、今後の参考とする) ③その他

番号	意見項目	意見	市の考え方(案)	区分
5	記載なし	<p>意見の内容：</p> <p>健康づくり(50代～80代のシニアの健康づくり)</p> <p>千間台西の噴水公園にて、ラジオ体操に通い始めたのですが、早朝6:15～ストレッチ、ラジオ体操第1、第2、ハッポちゃん体操、越谷の歌とたくさんの体操をボランティアの方々が指導して下さいます。50名～100名の近くの方々が、いきいきと通って交流されていて、参加させていただいてありがたいです。</p> <p>ぜひ越谷市の職員の方にも、見ていただいて、何らかのはげましのお言葉が欲しいと思います(1年中 正月3ヶ日以外、毎朝)</p>	<p>本市の健康づくりに関する方向性をご理解いただき、自主的に健康づくりに取り組んでいただいていることに感謝申し上げます。</p> <p>本市といたしましても、引き続き、健康づくりに関する施策を実施してまいります。</p>	③

第3次越谷市健康づくり行動計画・食育推進計画「いきいき越谷21」(案)へのパブリックコメント意見と市の考え方(案)

(募集期間：令和6年1月6日(土)から令和6年2月4日(日))

【区分】①意見を反映する ②意見の反映はしない(考えを説明、今後の参考とする) ③その他

番号	意見項目	意見	市の考え方(案)	区分
6	記載なし	<p>意見の内容：</p> <p>子ども達に持続可能な安全で美味しい給食を提供して欲しいと強く思います。</p> <p>子ども達は日本の未来です。</p> <p>学校給食を通して食の流通を学び、味覚を育て、社会へ貢献する明るい未来を描いて欲しいです。</p> <p>その為にも、取り入れる食材に地場野菜を増やし有機栽培も取り入れて欲しいです。</p> <p>化学調味料は使わず出汁からとり、冷凍食品ではなく手作りを。</p> <p>これは昔は当たり前に出ていました。大人の努力と工夫次第で実現可能ですよね。</p> <p>恥ずかしく無い、大人の背中を見せませんか？</p> <p>一般市民として心より強く願います。</p> <p>よろしくお願い致します。</p>	<p>本市の学校給食では、越谷市独自の細かい物資規格を作成し、入念な検討を重ねたうえで、使用する物資の選定を行っています。食材の選定においては国産食材を中心に使用し、化学調味料や食品添加物が使用されていない食品や遺伝子組み換えでない食品など、安全な食材の使用に努めております。</p> <p>また、学校給食における地産地消の取組として、越谷産米は、ほぼ一年間を通して使用しており、令和4年度は、くわい、小松菜、ねぎなど7品目の地場農産物が使用されています。</p> <p>引き続き、関係課所との連携を図り、食の安全に関する取組を進めるとともに、いただいたご意見は、教育委員会給食課、農業振興課に情報共有いたします。</p>	②

第3次越谷市健康づくり行動計画・食育推進計画「いきいき越谷21」(案)へのパブリックコメント意見と市の考え方(案)

(募集期間:令和6年1月6日(土)から令和6年2月4日(日))

【区分】①意見を反映する ②意見の反映はしない(考えを説明、今後の参考とする) ③その他

番号	意見項目	意見	市の考え方(案)	区分
7	記載なし	<p>意見の内容:</p> <p>子ども達の学校給食を、安全安心で野菜本来の美味しさがあるオーガニックな給食にして欲しいです。</p> <p>オーガニックや無農薬無科学肥料の自然農が、越谷に拡がり、子供たちの健康も守られて、子供達も一緒に作っていければ、食育にもつながり、給食でご飯を食べているだけだったのが、お米ができるまでの背景を知る事ができるのも、大きな学びになると思います。</p> <p>韓国では、国をあげてオーガニック給食にしています。日本では、農業自給率も低く、オーガニックや農薬や化学肥料に頼らない自然農となると更に少なく、学校給食を賄うだけの生産量も無く、現状が難しい状況だと思っています。しかし、今、農業をはじめ一次産業へのサポートをする事で、自給率も底上げし、尚且つ、学校給食という必ず需要がある(必ず買い取る)仕組みを利用する事で、農家さんのやる気も違ってくると思いましたが、聞いた話では、学校給食には、いろいろな基準があり、手間暇かける労力の割に、お金にならないということもあり懸念され、学校給食の食材を作る農家さんが減っており、給食での地産地消率も減っているらしい話を聞きました。</p> <p>気候変動、温暖化で、農家さんの苦労は計り知れないので、行政のサポートで、農家さんがやりやすいように、また、地球に負荷のかからない持続可能な農業にしていくことが、健康な循環になるのかなと思います。</p>	<p>本市の学校給食では、越谷市独自の細かい物資規格を作成し、入念な検討を重ねたうえで、使用する物資の選定を行っています。食材の選定においては国産食材を中心に使用し、化学調味料や食品添加物が使用されていない食品や遺伝子組み換えでない食品など、安全な食材の使用に努めております。</p> <p>また、学校給食における地産地消の取組として、越谷産米は、ほぼ一年間を通して使用しており、令和4年度は、くわい、小松菜、ねぎなど7品目の地場農産物が使用されています。</p> <p>食の安全に関しては、本計画案の85ページに記載のとおり、令和4年度に実施した「第3次越谷市健康づくり行動計画・食育推進計画策定に係るアンケート調査」においても、「食品の品質表示に関心を持つ人の割合」が第2次計画策定当初から改善がみられませんでした。</p> <p>この状況を踏まえ、同118ページの第4章「1 栄養・食生活(越谷市食育推進計画)」の行動目標「④ 食の安全性を求めよう」に記載した施策を実施するとともに、関係課所との連携を図り、食の安全に関する取組を進めてまいります。</p> <p>いただいたご意見は、教育委員会給食課、農業振興課に情報共有いたします。</p>	②

第3次越谷市健康づくり行動計画・食育推進計画「いきいき越谷21」(案)へのパブリックコメント意見と市の考え方(案)

(募集期間：令和6年1月6日(土)から令和6年2月4日(日))

【区分】①意見を反映する ②意見の反映はしない(考えを説明、今後の参考とする) ③その他

	<p>全国の水田の2%を有機にすれば、全国で100%の有機米給食が可能だという、みどりの食料システム戦略での指標もあるので、越谷でもお米からかえていくのは、どうでしょうか。</p> <p>自然農やオーガニック農業に切り替えるためのサポートも行政にお願いしたいです。自然農の野菜の栄養価、ミネラルの摂取が高まることで、食べた人にも良いし、もちろん作っている農家さんも、農薬や除草剤での健康被害だったり、土地自体の健康度にも差があり、収穫量にも良いと思います。</p> <p>まずは子供から、オーガニック給食を通じて健康になり、それを支える農家さんが増えることで、越谷の土地全体も健康になり、健康な人が増えることで、医療費や薬の使用量も減り、抗生物質による耐性菌なども抑えていけるのではと思います。家畜への抗生物質なども気になりますが、家畜のエサになっている遺伝子組換えも、心配です。</p> <p>トマトや魚へのゲノム編集の開発者は、人口増加への対策としてや、健康の要素としてリコピンを増やしていると思いますが、それを食べ続けても安全かというのには疑問があり、消費者が選べるようにして欲しいと思います。</p> <p>最後にオーガニック給食と言っても、現状、直ぐには難しいお思います。例えば調味料から、塩1つでも、自然塩に切り替えてみる、醤油や味噌も、昔ながらの製造のものにし、保存料や着色料などの添加物が無くて安全だと思います。</p>	
--	--	--

「越谷市感染症予防計画」(案)へのパブリックコメント意見と市の考え方(案)

(募集期間：令和6年1月6日(土)から令和6年2月4日(日))

【区分】①意見を反映する ②意見の反映はしない(考えを説明、今後の参考とする) ③その他

番号	意見項目	意見	市の考え方(案)	区分
1	第1、2、 4、5、6	意見の内容： 越谷市には、市立病院・獨協医科大学埼玉医療センターとしっかりとした医療保健体制を主要市に引けをとらないものとしていることがわかりました。 ここで自案となりますが、近隣県下各市・都・千葉県との包括連携による「三人寄れば文殊の智慧」との方式を提案いたします。	本市といたしましては、「埼玉県感染症対策連携協議会」を通じて、埼玉県・県内各市及び医師会等の関係団体とのさらなる連携強化に努めてまいります。 なお、広域的な医療連携や医療提供体制の確保については、限りある医療資源を有効活用するため、都道府県単位による調整が必要となります。このことから、他県との連携強化については、感染症の特性に応じ、引き続き埼玉県を通じて、対応に努めてまいります。	②

(案)

資料4

令和6年(2024年)2月 日

越谷市長 福田 晃 様

越谷市保健衛生審議会

会長 原 直

第3次越谷市健康づくり行動計画・食育推進計画「いきいき越谷21」
について(答申)

令和5年(2023年)8月8日付け越健推第552号をもって諮問のありました第3次越谷市健康づくり行動計画・食育推進計画「いきいき越谷21」の策定について、本審議会において慎重に審議を重ね、意見をとりまとめましたので別紙のとおり答申します。

答 申 (案)

わが国の高齢化は進み、越谷市においても、65歳以上の高齢者人口は令和2年に25%に達し、4人に1人が高齢者となり、少子高齢化の傾向が顕著になっています。健康維持・健康寿命の延伸が、今後の大きな課題となります。これからの人生100年時代において、だれもが健康で生涯にわたり生きがいを持って暮らしていくためには、疾病の発症・重症化予防や生活機能の維持・向上とともに社会環境の質の向上の観点を踏まえた健康づくりが求められています。

本審議会では、令和5年8月8日に市長より第3次越谷市健康づくり行動計画・食育推進計画「いきいき越谷21」策定について諮問を受け、令和6年度からの12年間の健康づくりの取組、達成すべき目標などについて慎重に審議を重ねてきました。

計画策定にあたりましては、本審議会において出された意見を十分に勘案していただくとともに、下記の意見を付言いたしますので、市民のニーズを的確に受け止め、市民全体の健康づくりを確実に推進し、市民の健やかな生活のため尽力されることを期待します。

記

第3次越谷市健康づくり行動計画・食育推進計画「いきいき越谷21」（以下「計画」という。）の推進にあたっては、次の事項について配慮されることを望みます。

- 1 みんなが健康で共生して住み続けられるまちづくりのため、本計画の基本方針である「健康寿命の延伸と健康格差の縮小」に向け、「自らの健康は自らが守る」という意識を醸成し、市民一人ひとりが主体的に健康づくりに取り組めるよう努めること。
- 2 市民・関係団体・行政が一体となり、市民一人ひとりが積極的に健康づくりに取り組めるよう環境づくりに努めること。